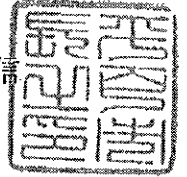


20平建第574号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

平戸市長 白 濱 信



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け 国道企第37号をもって依頼のあったことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県平戸市

道路は地域住民の日常生活に不可欠な施設であるとともに、経済活動を支える基本的な社会基盤施設です。幹線市道は、県道とともに高速道路や国道と一体となって、広域的な生活圏を形成し、地方における交流と連携を促進するなど、地域の生活環境の向上を図る上で重要な役割を担っています。地方は、過疎化が進み人口が減っていくからもう道路は造らなくていいとの批判もあります。

私どもの地域は県庁まで、また高度医療を備えた病院まで2時間半から3時間も要します。過疎化・少子高齢化、一次産業の衰退、人口の減少に歯止めがかかりません。また、災害時など、道路事情により大きな制約を受けています。地方で住民が暮らすことができないようでは国土の維持は不可能です。過疎化・高齢化が進んだので道路が不要となるのではなく、そういった個所こそ道路を整備し、人に住んでもらうことが大切です。

私達の地方では道路特定財源は堅持して欲しいと多くの人たちは考えています。「増税のままでいいから早く道路整備をして欲しい」という切実な思いがあります。真に必要な道路とは、国や県、市が計画するのではなく「地域の人たちが一番望んでいる道路」であると思います。真に必要な道路は造らなければなりません。そしてネットワークとして活用できなければなりません。

現在進められている、西九州自動車道などは県北地域の振興のみならず、そこに住む人々の大切な生命財産を守る大動脈であります。道路整備は多くの自治体が望む最も基本的なインフラ整備です。バリアフリー化、電線類の地中化など道路整備のニーズは多方面に亘っています。中期計画を策定する前に、市民生活に密着した道路整備の必要性を分かりやすく積極的にPRして欲しいものです。

○ 現状

①市道の整備について

市道は、合併により路線数が 1,893 路線、延長は 903 kmにも及んでおり、整備状況は幅員 3.5m未満の未改良区間は 499 km、55%にもなっており一刻も早い整備が望まれています。

②国道の整備について

市内を縦断する国道383号の現状は、一次改良済みとはいえ幅員が狭く、カーブも多いため近年の交通量に対処できず、地区住民から早期改良の要望が日増しに高まっています。

○課題

膨大な延長を抱える市道の整備を一律に進めることは財政的に困難であり、効率的でないため幹線道路網の一環を形成する重要な道路を、国の補助事業として要望し、重点的に整備推進することとしています。

国道383号の問題点は①幅員の狭い未整備区間が点在する②歩道未整備区間が多く残る③基準を満足しない曲線部が点在します。

当該道路の有する性格、及びもつべき機能は、幹線道路、観光道路、緊急輸送道路として機能の確保が望まれており、機能の確保を目的とした道路整備は、急務であると思われます。

また、歩道の幅員も道路周辺的环境に合わせ、自歩道幅員を使い分けることが合理的と思われます。

②-2 地域の目指すべき将来像

長崎県平戸市

①街なみ環境整備事業

平戸市の中心街は城下町時代の歴史を持ち、古くから商店が立ち並んでおり、歴史、産業、自然、文化といった数多くの魅力あふれる資源に触れることができます。その市街地の「歴史を活かし」商店街を「歩いて楽しいまち」として整備・演出し、平戸市民、そして観光客が歩きたくなる、再び訪れたいまちとなるよう「歴史を生かした歩いて楽しいまちづくり」をめざし、電線類の地中化など街なみ環境整備事業を進めています。

②日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)の取り組み

昨年九州風景街道推進会議が開催され、九州で申請があった9ルートの一つとして「ながさきサンセット・オーシャンロード」が登録ルートの承認を受けました。観光振興策の一環として最近注目を集めている新しい道路行政の手法であるシーニック・バイウェイは従来、単なる地点間輸送に過ぎなかった道路そのものを観光資源として活用し、マイカーもしくはバスツアー旅行者を呼び込もうという戦略です。ルートのうち平戸から佐世保にかけては西海国立公園に沈む夕日を見ることができ、西海市から長崎市にかけての国道 202 号では西側に開けた空と海に沈む夕日を見ることができます。ルート沿いには多くの教会があり、平戸にも世界文化遺産暫定リスト入りしている教会があります。平戸市にはこのようなキリシタン文化を色濃く残す場所を巡る「平戸キリシタン紀行」として観光商品化されています。平戸のコースは主に国道及び県道であり、道の駅も2箇所があり、「とるっぱ」に最適な場所も数多く点在します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

長崎県平戸市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・住民参加による道路環境美化活動	・協働によるまちづくり、いわゆる市民参画によるまちづくりの推進に向けて、道路が地域住民の共有財産だという認識の下、地域の良い環境などを造り出していく試みとして「平戸市道路愛護推進事業実施要綱」を制定しています	・道路等の清掃、美化活動に取り組む意思がある概ね5人以上で構成される団体が自治会を中心に登録されています。草花の植栽、清掃等の環境美化活動を自発的に行おうとする意識が芽生えています。	